

【相手先企業】 茨城県陶芸美術館，株式会社笠間工芸の丘

【 内 容 】

窯業指導所と隣接する茨城県陶芸美術館，株式会社工芸の丘との三館における連携を図るために，以下のような協力支援を行いました。

陶芸美術館で行う企画展では，関連催事を中心に支援しています。

「人間国宝荒川豊蔵」では，H20年6月7日(土)に，「陶片発掘ワークショップ」を行いました。笠間市内の窯址で陶片を発掘し，やきものに秘められた事実や背景について講義するというもので，窯址の情報提供・当日の進行について協力しました。当日は県内外から17名の参加があり，普段知ることのできないやきものの知識を得たと好評をいただきました。



「岡部嶺男展」では，H20年8月17日(日)に，「青磁釉に挑戦！ワークショップ」を行いました。展覧会で取り上げられた「青磁釉」の奥深さをテーマに，参加者に釉薬調合を経験していただく企画です。当所設備と情報資産を活用した内容で，3種類の調合レシピとその原料を準備しました。あらかじめ成形しておいた盃に施釉して，後日ガス窯で焼成。焼きあがった作品は記念品として，参加者にお渡ししました。



国民文化祭「笠間・炎の祭典」では，登り窯焼成の技術支援をしました。

H20年11月4日(火)～11月9日(日)の6日間，約1200点の作品を焼成。職員と研修生とともに交替しながら薪くべや温度管理を行いました。焼成の参加者は，アマチュア陶芸家を含めて延べ157名という大規模な内容で，全体計画や細かい指示についても責任をもって参加しました。11月5日(水)にはNHK水戸放送局が取材，「いばらきわいわいスタジオ(デジタル放送)」で当日放送されました。



国文祭で全国から訪問した来客に，笠間焼をPRする絶好の機会になりました。

ほかにも今年度には，三館共通のパンフレット「笠間芸術の森公園のご案内(日本語版と英語版)」を作成して笠間市観光協会，各施設友の会やファンクラブをとおして広くお知らせすることができました。

笠間焼について「学ぶ 見る 楽しむ」が実現できる三館の連携は，笠間を訪れるみなさまにとって，わかりやすく親しみが持てるはずです。

基礎となった事業 平成20年度 試験研究指導費 (B経費)

担当部門

工芸技術部門

技師 久野 亘央

TEL : 0296-72-0316